

コンピュータ演習 第11回

今回のテーマも、「プレゼンテーション」です。

今回と次回で、まとめの課題に取り組みます。

- リハーサル機能を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

実習で利用する電子メールのシステムは、「ウェブメール」です。

- アドレス: <https://login.microsoftonline.com/>
- 自宅や外出先からでも利用できます。

この授業では、eラーニングのシステムを利用して実習をします。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅や外出先からでも利用できます。
- 携帯電話やスマートフォンからも利用できます。



今回の内容

1. 情報倫理の概説

- 情報倫理について
- プレゼンテーションのテーマの選択

今回の課題

- 課題: [情報倫理を啓発するプレゼンテーションの作成](#)
 - (1) テーマの決定
 - (2) プレゼンテーションの作成

情報倫理の概説

情報倫理について

プリントやeラーニング上での資料をもとに、「情報倫理」全般について説明します。次のポイントに注意してください。

- パソコンやインターネットの操作だけが重要ではない
- 利便性と危険性を十分に理解する
- 背景にある仕組みを理解する
- ネット上のコミュニケーションも現実のコミュニケーションと同じ

プレゼンテーションのテーマの選択

今回と次回（第11回～第12回）の2回分の授業で、情報機器（パソコン、携帯電話、スマートフォン）やインターネットを利用する際に起こりうる、トラブルや犯罪の危険性を訴える、「啓発」を目的としたプレゼンテーションを作ります。

自分やまわりの人たちの体験、ネット上の資料をもとして、公共広告のテレビCMのような映像作品を制作します。視聴の対象を、高校生から大学生（10代後半～20代前半）とします。

プレゼンテーションで扱う「テーマ」について、下の表から1つだけ選択してください。「関連キーワード」は、テーマに関連する用語や語句で、問題となる現象やその原因などをまとめたものです。

番号	テーマ	関連キーワード
1	個人情報の漏えい	個人情報やカード情報の流出、USBメモリやパソコンの紛失・盗難、携帯電話の機種変更、パソコンの破棄、パスワードの管理、アンケートの回答
2	嫌がらせ・誹謗・中傷	荒らし行為、フレーミング、炎上、ネットいじめ、デマ、犯罪予告、匿名性、名誉毀損、業務妨害
3	迷惑メール	ダイレクトメール、スパムメール、チェーンメール、デマメール
4	売買のトラブル	ネットショッピング、ネットオークション、ネズミ講、違法物品や危険物の販売・出品
5	コンピュータウイルス	ウイルス対策ソフト、データの改ざん・消去・流出、システムの機能不全・破壊、踏み台、ファイルの偽装、スマートフォンでの被害、トロイの木馬、マルウェア
6	著作権の侵害	文章・音楽・映像・ソフトの違法コピー、キャラクターの無断使用、無断で引用、コピー、動画配信サイト
7	ネット詐欺	架空請求、ワンクリック詐欺、フィッシング詐欺、なりすまし
8	情報の信ぴょう性	クチコミ、うわさ、デマ、流言、拡散、SNS、Twitter、Facebook、Wikipedia、情報源、風評被害

第11回の課題：情報倫理を啓発するプレゼンの作成

(1) テーマの決定（今回のみ）

テーマの選択

プレゼンテーション制作を希望する、「情報倫理」のテーマを1つ決めてください。決まったら、次のようにして希望するテーマに投票してください。

1. 『テーマの選択』をクリック
2. 希望するテーマのチェックボックスをクリックし、「私の投票を保存する」ボタンをクリック
3. 投票結果が表示される

もし間違えて希望と違うテーマを選択した場合は、再投票すれば、希望するテーマを選択できます。

決定したテーマの報告

テーマが決まったら、eラーニングで報告してください。

1. 『第11回の課題』をクリック
2. 「質問に回答する ...」というリンクをクリック
3. 選択したテーマや選択した理由などを入力して、「あなたの回答を送信する」ボタンをクリックすれば、報告完了！

(2) プレゼンテーションの作成（今回と次回；次回提出）

今回と次回で、「**情報倫理の選択したテーマに関するプレゼンテーション**」を作成します。プレゼンの目的は、テーマに関する危険性や注意点などを「ひとつのストーリー」として説明することで、情報倫理を訴えるということです。

作品には、次のようなルールを決めておきます。

1. 視聴対象は、高校生から大学生（10歳後半～20歳前半ぐらい）
2. スライドの枚数は、7枚以上（多くても9枚まで）
3. スライドの構成は、場面ごとに考える
 - 第1場面：表紙（タイトル、学籍番号、氏名：スライド1枚）
 - 第2場面：起承転結の「起」
 - 第3場面：起承転結の「承」
 - 第4場面：起承転結の「転」
 - 第5場面：起承転結の「結」
 - 第6場面：まとめ（スライド1枚）
 - 第7場面：この作品について（スライド1枚）
4. プレゼン全体を、「**60秒前後**」（60秒±15秒程度）で再生する
 - スライドショーを自動的に実行する「リハーサル機能」を設定すること
 - 見た人が内容を理解できるように、スライドの切り替えやアニメーションの時間配分に注意
5. 第6場面は、それまでの内容の解説や注意点を文章でまとめる
 - **必ず**インターネット上の詳しく解説された情報をもとに作成すること
6. 第7場面は、制作者（学籍番号、氏名）と参考にした情報をまとめる
 - 参考にした情報に、事例として参考にした情報（URL）を1つ以上を掲載
 - 参考にした情報に、解説や注意点の参考にした情報（URL）を1つ以上を掲載

ファイルの保存

編集ができれば、次のようにして、ファイルに保存してください。

1. メニューから「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリック
2. 保存する場所に、自分の「ドキュメント」のフォルダを設定
3. ファイル名に「1215」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)
 - 例: 学籍番号がX2161000の場合、ファイル名は「1215x2161000.pptx」

課題の提出

この課題は、**次回(第12回)の授業**で提出してもらいます。注意してください。